東京　明治十七年六月四日　水曜日　第六百七十六號　日曜日休刊　定價金三錢

敍任

○明治十七年六月二日

敍正五位　從五位勳三等　辻維岳

兼任外務書記官　外務權少書記官正七位　栗野愼一郎

任檢事　正八位　安藤謙五郎

時事新報

收税法ハ整頓シタリ租税ノ收入ハ如何

我大藏省ニテハ今般租税關税ノ兩局ヲ廢シテ新タニ主税局ナルモノヲ設ケ從前兩局ニ屬スル一切ノ事務ヲ總括シ其局長ニハ主税官長トテ勅任官ヲ置キ實ニ卿大輔少輔ニ亞グ任ジタリ今般ノ改革ハ單ニ兩局ヲ改メテ一局ト爲シタルニ止マラズ各府縣ニ主税長(奏任官)收税屬(判任官)ト稱スル税務專任ノ官吏ヲ置クノ制ヲ創メ收税長收税屬ガ租税事務ニ任スルハ彼ノ警部長警部等ガ其府縣内ノ警察事務ニ任スルト同一ノ地位關係ニ立タシメタリ實ニ此改革ハ從前ノ收税順序ニ向テ頗ル大ナル改良ヲ加ヘタルモノニシテ是ヨリシテ全國ノ税務ヲ一目ニ通觀スルコトヲ得氣脈相通シ遠近相呼應スルノ便利十分ニ備具シテ世界最文明國ノ收税組織ニ比シ勝ル所アルモ劣ル所ナキ完全ノ組織ヲ成スニ至ルハ蓋シ多日ヲ要セザルベシ

一國ノ租税法ハ何程ニ善美ナルモ其收税組織ニシテ未ダ完全ナラザル間ハ到底其善美ヲ成スコト能ハズ故ニ租税法ノ善美ト共ニ收税組織ノ完全ナルモノヲ得ルノ大切ナルハ固ヨリ多辯ヲ要セザルナリ然レドモ收税法ハ唯租税ヲ徵收スルノ器械ニシテ此器械ヲ用テ徵收スル税金其物ニハアラザルガ故ニ收税法ノ整頓シタルヲ見テ直チニ租税ノ收納ヲ得タリト心得ルコト能ハザルナリ故ニ我輩ハ今回ノ收税法改革ニ由テ其組織ノ整頓シタルヲ喜ブト雖ドモ果シテ我日本ノ租税法ト併立シテ其實用ニ適シ十分ニ租税ヲ收納シ得テ憾ナキヤ否ヤヲ證明シ得ルノ後ニアラザレバ唯收税組織ノ整頓ノミヲ見テ安心スルコト能ハザルナリ

明治十七年度日本政府歳出入豫算表ニ依ルニ歳入ノ總計七千五百九十八万二千圓ノ中其地租ニ係ハルモノ四千二百八十八万八千圓即チ歳入ノ過半ハ土地ニ課スル税金ヨリ成ルモノニシテ土地ノ外ニ依頼スベキモノハ千六百八十一万三千圓ノ酒造税、二百六十一万圓ノ海關税、二百二十五万二千圓ノ郵便税、百五十八万八千圓ノ煙草税ニシテ他ニ一萬百萬圓以上ノ税源アルコトナシ抑モ我日本ハ人口三千七百万ヲ有スル世界屈指ノ一大帝國ナリ此帝國ヲ維持シテ今ノ文明競爭ノ世界ニ立タントスルニハ固ヨリ七八千万ノ費用ニテ足ルベキニアラズ必ズヤ大ニ租税法ヲ改良シ出ルヲ計テ入ルヲ制スルノ工風ナカルベカラズ然レドモ昔年ノ習慣ノ如ク國用ハ總テ地租ヲ以テ辨スルモノト爲シ只管土地ニ課税シ之ヲ直接ニ農民社會ノ負擔ナノミ重クセントスルハ甚ダ計ノ得タルモノニアラザルガ故ニ時ノ宜シキニ從テ種々ノ方法ヲ[illegible]全國人民ニ平分シテ能ク其負擔ニ堪ユルノ租税法ナ[illegible]未ダ曾テアラズ近年ニ至リ[illegible]税等ノ設アリシハ蓋シ租税主義ノ漸ク精良ニ趨クノ實跡ナルベシ然ルニ凡ソ租税ヲ定ムルニ當リテ最モ大切ナルハ其關係ノ及ブ所ヲ知リ其釣合ノ如何ヲ明ニスルノ一事ニシテ唯一概ニ何々ノ税法ヲ設ク則ナ可ナリト云フベキモノニアラズ殊ニ外國貿易ノ自在ナル今ノ世ニ當リテハ諸税ノ釣合ヲ失ハズシテ能ク其目的ヲ達スルハ極メテ困難ノ事トスルナリ例ヘバ内國釀造ノ酒ニハ五割ノ税ヲ課シ外國ヨリ輸入ノ酒ニハ五分ノ税ヲ課スルコトアランニハ國内ノ需用者ハ内國製ノ酒ヲ飲マズシテ外國輸入ノ酒ヲ買フコトナリ五割税ノ收入ハ皆無トナラン或ハ刻煙草ニハ三割ノ税ヲ課シテ巻煙草ニハ無税トスルコトアランニハ世ノ喫烟家ハ漸ク煙管ヲ投シテ巻煙草ニ遷ラン漸クテハナラヌトテ内國製造ノ巻煙草ニハ同シク三割ノ税ヲ課スルモ外國輸入ノ巻煙草ニハ五分ノ税ヲ課スルコトアランニハ國内忽チ煙草製造者ノ跡ヲ絶ツコトナラン或ハ又内國製造ノ絹布ニ幾割ノ税ヲ課セシカ外國ヨリ輕税廉價ノ絹布ヲ輸入シ來リテ内國人ノ需用ニ供シ内國ノ織屋ハ早々ニ其機場ヲ鎖スコトナラン此等ノ例ヲ推セバ租税ノ釣合ノ大切ナルコト亦甚ダ明白ナルベシ、内國税ニシテ果シテ海關税ノ掣肘スル所ト爲リ一擧手一投足モ其自由ヲ得ザルモノナランニハ必ズヤ先ヅ海關税ノ緊實ヲ塞キ以テ内國税ノ働ヲ自在ナラシメザルベカラズ條約改正會ニスベシ海關税率増加スベシトノ説ヲ爲ス者アランハ自然ノ順序ナラン税率ノ増加甚タ善シ然レドモ我輩ハ更ニ一歩ヲ進メテ税率ノ増加果シテ能ク其目的ヲ達シ得ルヤ否ヤヲ講究セザルベカラズ日本ノ外國交際ハ尋常一様ノモノニアラズシテ彼ノ治外法權ナルモノ、附着スル一種變質ノモノナル事ヲ考合セザルベカラズ我輩ハ治外法權ナルモノ、本來ノ性質ヲ知ラズ唯開國以來ノ習慣ニ因リ我開港場在留ノ歐米人等ガ言フ所ニ依レバ日本在住ノ外國人ハ日本ノ法律ニ從フコトヲ要セズ日本ノ法律ヲ以テ定ムル所ノ租税ヲ納ムルヲ要セズト、是レ今日ノ所謂治外法權ナルモノナリ、收税組織漸ク整頓シテ治外法權尚存セリ、治外法權尚存シテ獨リ海關税率ヲ増加シ内國税ヲ整理シタルノミヲ以テ我輩最上ノ目的ヲ達シ得ベキヤ、我帝國維持ノ爲ニ次第ニ歳入ヲ増加シテ政府ノ基礎ヲ強大ニスルニ足ル可キヤ、七千六百万圓ノ歳入ハ増シテ八九千万乃至一億又一億五千万ニモ進ム可キヤ、我輩ハ單ニ其進ムニ就テ不安心ヲ抱クノミナラズ過テ不安心ノ極端ヲ云ヘバ誠ニ現在ノ歳入スラ尚且ツ妨害ヲ被リテ侵蝕セラル、ノ恐ナキヲ得ズ蓋シ其譯我内國人ニ在ラズ唯外國人ガ我レニ向テ主張スル治外法權ノ中ニ在テ存ス我輩ハ日本國民ニシテ日本國ノ強大ヲ祈ルガ故ニ日本國政府ノ強大ナランコトヲ願フ者ナリ我輩ハ歳入ノ多カランコトヲ希望スル者ナリ歳入ヲ増シテ國ノ富強ヲ進メ世界最文明國人ノ中ニ周旋スルノ時我ハ東洋ノ日本人ナリト云テ人ニ愧ザレンコトヲ希望スルナリ然ルニ彼ノ治外法權ナルモノ、存在スル限リハ希望ヲ達セント欲スルハ蓋シ天ニ階スルノ類ニ近カルベシ

電報

○六月一日龍動發　龍動府にては殆んど同時刻に爆裂藥の三破裂あり一はセント、ジェームス、スクエヤにて起り其他はスコットランド、ヤードにて起り非常の損害を生したるが其負傷者も若干名ありて龍動府中の驚愕極度に達せり

雜報

○有栖川新邸　麹町區裏霞ヶ關なる有栖川左府宮の新邸建築費は總て帝室費の内より支辨するに付既に一昨年中より工部省營繕課へ御沙汰れ上其新築に着手相成り居りし處周圍の構ひを除くの外は悉皆落成したるを以て來る十五日限り工部省より同家へ引渡すよし右に付同日迄には二品、三品の兩宮共右新邸へ御引移りあらるゝ御都合なりと尤も一品幟仁親王の宮には矢張り是迄の御住居なる同區三年町に在らせらるゝとの事なり

○德大寺侍從長　同侍從長には御用にて近々京坂れ兩府下并に滋賀縣下へ出張するよし

○委員被免　林海軍少將は去月卅一日海軍將校以下勳功調査委員免せらるゝ旨仰渡されたり

○澳后の仁慈　澳國皇后宮には毎年壹回づゝ豫め發令なく普通病院(維也納府官立の一大病院)に微行せられ親しく患者を慰め恩言を賜ふ例なるか去る三月四日午前十一時頃同院監督局の前にて質素なる馬車を下り監督局の階段を登らんとする貳人の貴女あり偶々側に人なく貴女も階段の半に登りたりしが此時壹人の階段を降り來るに逢ひ貴女は之に監督局に至るには此階段を登りて可なるやと問へるに其者は然りと答へ直に貴女を樓上の監督局に誘ひたり院長ホフマン氏の代理博士コリスコー氏は將に家に歸らんとするれ際なりしが貴女の壹人此時に及び他の貴女は皇后宮なる旨を告けらるるを以てコリスコー氏は遽然敬禮を行ひ謹みて院長不在中自分其事務を代理する旨を奏しぬ皇后は懷中より查察の書附を出し暫く之を披見ありぬる後博士アルベルト氏及博士ビルロート氏の實驗室へ誘導せんことを命せらる乃ちコリスコー氏先導して以前の階段を降り直にアルベルト氏の實驗室に臨啓ありたるを以て急にアルベルト氏を召喚し患者れ容体病症等を奏せしめたり皇后には各病床の前に立たせ給ひて逐一に仁慈なる慰問を賜はり殊に兒童には其氣力を喚起すへき恩言を垂れ給ひ其中顏色蒼白にして眼窩陷沒し殆と不治の病に罹りたる五歳の童子を殊に憐み賜へり夫よりビルロート氏の實驗室に於ても重症患者及小兒には殊に注意せられ心配なる國康の婦女が彩衣を着したる木偶を玩ひて嬉遊するの容態を御覽ありく汝の病氣は如何なるや苦痛多きや又汝の兩親は屢々見に來るか嗟呼汝の木偶は頗る美麗なり余も亦汝に登備を贈るへしとの恩言を賜りたり各室巡覽中彼のフレッヒ氏を推薦したる者を推するに際しフリードルフに於て負傷しぬる職工メロウの病室に臨まれぬるときビルロート氏は其負傷不日全癒すへき旨を言上しぬるに殊に喜悦の色をあらはし直に病床に向ひて種々下問し給へども[illegible]るを以て奉答すると能はざりき[illegible]御覽ありたる後校長代理及書記官[illegible]るは欣悦に堪へすとの語を賜ひ[illegible]通知ありきを以て臨御れ時には[illegible]還啓の節には數千れ患者奉送の[illegible]集りく敬禮を行ひ其仁慈の賜[illegible]維也納フライエプレッセ新聞に[illegible]

○ユウゼー一皇后　故佛國西[illegible]ー皇后ハルーエル氏の著述せる[illegible]を自身に校閲ありて昨今之れ勉強し[illegible]の報に見へたり

○武官補任　東京鎮臺參謀歩兵[illegible]に任し歩兵第十八聯隊長に補し[illegible]同少佐に任し東京鎮臺出仕を仰[illegible]、島名常貫の兩氏は同大尉に任[illegible]第三大隊中隊長に補し、砲兵中[illegible]に任し砲兵第四聯隊第三大隊中[illegible]局員歩兵少佐高井敬義氏は本[illegible]歩兵少尉片岡信正氏は東京鎮臺[illegible]昨日仰渡されたり猶此餘佐尉官[illegible]

○出發　曩に函館、札幌、根室三[illegible]主税官戸叶正明及四等主税屬[illegible]精岡高瀬四郎、同坂本俊健、六等[illegible]も一昨二日出發したり又曩に[illegible]る統計課長工部少書記官[illegible]又過日北海道へ出張を命せられ[illegible]十日出發の都合なりと

○出張　工部大學校副長竹田春[illegible]坂、京都諸工場生野、三池鑛山局[illegible]られたり

○安藤檢事　一昨二日檢事に任[illegible]八等官相當年俸六百六十圓下賜[illegible]

○歐洲差遣　海軍權少匠司士[illegible]之英國へ差遣さるゝ旨仰付られ[illegible]倉久の兩氏は同日野村靖[illegible]たり

○高倉錦小路兩氏　去月十九日[illegible]る京都府[illegible]倉永[illegible]小路[illegible]士官學校へ入學を仰付られたり

○白耳義國王　五月十日[illegible]去る五月十七日を以て[illegible]ご事件に關して白耳義も[illegible]なりしを以て[illegible]

○罷委員　古賀、二階堂、[illegible]並に中村[illegible]

○[illegible]